

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市立ときわ園
(2) 指定管理者	所在地 津山市津山口 306 名称 社会福祉法人 江原恵明会 代表者 理事長 江原秀国
(3) 公の施設の所管部署	環境福祉部社会福祉事務所高齢介護課
(4) 指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日
(5) 評価対象期間	令和4年4月1日から令和5年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	75人（内 津山市 63人） 令和5年3月末現在
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 養護老人ホーム ・ 老人短期入所 ・ 特定施設入居者生活介護

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	192,003 千円
	利用料金収入	120,113 千円
	指定管理料	6,153 千円
	自主事業収入	62,723 千円
	物価高騰支援金	2,280 千円
	その他収入	734 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	193,380 千円
	主な支出	人件費 94,012 千円
		光熱水費 25,276 千円
		修繕・消耗品費等 5,471 千円
		委託料（施設管理） 28,578 千円
		負担金・公租公課 77 千円
		その他 39,966 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査の概要	業務を行う中で、いつになれば元の生活ができるのかと利用者から不安の声が聞かれていたが、年度末ごろより感染者数も落ち着き、感染対策を徹底したうえでパーテーション越しでの面会や家族同伴の受診外出を再開している。また、食事については、嗜好調査を行い、施設利用者の希望に沿った行事食、日々の食事の提供を心掛けている。
(2) 指定管理者の自己評価	指定管理7年目となり、令和4年度の稼働率は83.5%で、入院者・他施設への転所者が多く稼働率の低下に繋がった。対象となる高齢者の受け入れを迅速に行い生活を支えるとともに、介護度に応じた質の高いケアを提供した。職員においては、専門知識や意識を高めるよう各種研修（感染症、虐待防止等）への参加及び介護福祉士等資格取得推進によりサービス向上に努めた。コロナウイルス流行に伴い予防対策の徹底を実践し、施設内感染を未然に防ぐことができた。

(3) 市の評価

令和3年度後半に退所者が増加したことから、令和4年度の平均入所者数は減少し、稼働率が低下した。しかし、令和5年3月31日時点で入所者数は75名と施設定員80人の94%となっており、年間の新規入所者19名に対し退所者15名で、入所者4名増となっている。入所については、自治体の措置により実施されるため、今後とも各市町村と連携して施設の空き情報を共有し、更なる入所増につなげていただくよう期待する。

施設の管理面においては、対象となる高齢者の迅速かつ適切な受け入れと、入所者の介護度に応じた適切な処遇計画の作成が実施され、入所者それぞれの状態に応じた質の高いケアが提供されている。QOLを高める取り組みとしても、季節に応じたレクリエーションが定期的実施されるほか、利用者の嗜好に沿った食事を提供するなど工夫が見受けられる。入所者から市へ特段苦情が入ることもなく、施設での生活に対し満足の声が届くことも、公立養護老人ホームの指定管理者として、適切に職務を遂行している結果であると考えている。また、その背景には、施設職員の専門知識や意識を高める各種研修と資格取得の推進、快適な職場環境の構築があると捉えられる。これらが高齢者の心身の健康や安定した生活の実現に寄与していることは評価に値する。

収支面としては、事業活動において、令和3年度から約750万円の支出が増加している。これは光熱水費の高騰によるものであるが、令和5年度においても、このことは継続して発生する問題である。利用者への質の高いケアは維持しながらも、効率的な施設運営をこれからも継続して行っていただきたい。